

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名【新】フードドライブ推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 資源循環推進係 電話番号：058-272-1111(内2714)

E-mail：c11225@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,810 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,810	0	0	0	0	0	4,810	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県では食品ロス削減の推進のため、令和3年度中に「岐阜県食品ロス削減推進計画」を策定することとしており、フードドライブをはじめ家庭における未利用食品等の有効活用も対策の柱となる予定。

同計画において食品ロス削減に取り組む県民の割合を100%(R12年度末)にすることが掲げられているが、環境に関する県民意識調査により、「何をどう取り組んでいいかわからない」方が約3割を占めていることから、県として県民に実践いただける具体的なプログラムを提供することが必要。

フードドライブは県民が気軽に参加できる食品ロス削減の行動の一つであるが、取組を浸透させるためには県民からの提供希望に対応できるよう回収拠点を広げていくことが課題。

また、フードドライブの対象は家庭であり、市町村等が中心となった施策展開が想定されるが、福祉団体との調整や食品を取り扱う上でのルール化など課題があり、県内市町村単独では事業が進んでいない。

については、県が市町村と連携してモデル的にフードドライブを実施し、実施に向けた手順や留意点をマニュアル化し、市町村等にフィードバックすることで、地域におけるフードドライブの取組を促進することが必要。

(2) 事業内容

○ フードドライブ推進事業

家庭から出る未利用食品を有効活用するフードドライブ事業について市町村等での展開が促進されるよう、県内市町村と連携しモデル的に事業を実施する。

実施結果を分析し、市町村においてフードドライブを実施するためのマニュアルを作成するとともに、実施に用いた必要備品については翌年度以降市町村等が同事業を実施する際に貸し出すこととし、フードドライブの県民への浸透を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

ふるさと環境保全基金を活用する。(補助率10/10)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	44	業務旅費
委託料	4,750	フードドライブ推進事業、新聞広告掲載
使用料及び賃貸料	16	会場借上料
合計	4,810	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県食品ロス削減推進計画」(令和3年度中策定)

V 推進施策

2 未利用食品等の有効活用及び適正な再生処理の推進

(1) フードバンク活動、フードドライブ等の支援

(2) 国・他県の状況

2 1 県において県が関与する形でフードドライブ事業を実施。

(3) 後年度の財政負担

無(県でマニュアル等を整備した後、令和5年度以降は市町村等による実施を想定)

(4) 事業主体及びその妥当性

フードドライブ自体は市町村等が中心となった施策展開が想定されるものであるが、県内全域での浸透を図るため県が単年度事業としてマニュアルや必要備品を整備し令和5年度以降市町村への展開を図ることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「フードドライブ」が県民に浸透するとともに、令和7年度までに県内5圏域で開催され、回収された食品が地域の中でニーズに合った形で必要な方に提供されるよう、回収にとどまらず受け取り手までの循環に配慮した仕組みが構築されている状態を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

市町村等での導入を促進するため単年度事業として実施するものであり指標の設定は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 市町村等を中心にフードドライブの浸透が図られるよう、県において必要なマニュアル等の整備を行うことが必要。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業の成果や課題を踏まえマニュアルを整備するとともに、必要備品等の貸出により、令和5年度以降市町村等によるフードドライブの実施を支援する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】